

第110回
定時株主総会

2016年 6月29日

宇部興産株式会社

2015年度 経済情勢

世界経済：

- ・米国：回復が続く
- ・欧州：緩やかな回復基調
- ・アジア：中国で景気減速感が徐々に強まる



緩やかな回復が続く

国内経済：

- ・輸出など一部に弱さ
- ・個人消費が総じて底堅い
- ・企業部門に改善の動き



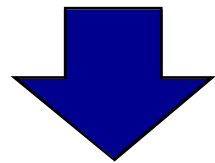
緩やかな回復基調

当社グループの取り組み

2013年度からの3ヶ年中期経営計画

「Change & Challenge-更なる成長に向けて-」

基本方針に基づき、最終年度として、化学部門の早期収益回復等、各事業課題の解決に向け取り組む。



石炭・原油等原燃料価格低下

建設資材など非化学部門は概ね順調に進捗

化学部門にて一定程度の回復を達成

近年収益性低迷が続く事業の減損損失を計上

連結売上高

6,417億円

前期比：9百万円減

(億円)

8,000

7,000

6,000

5,000

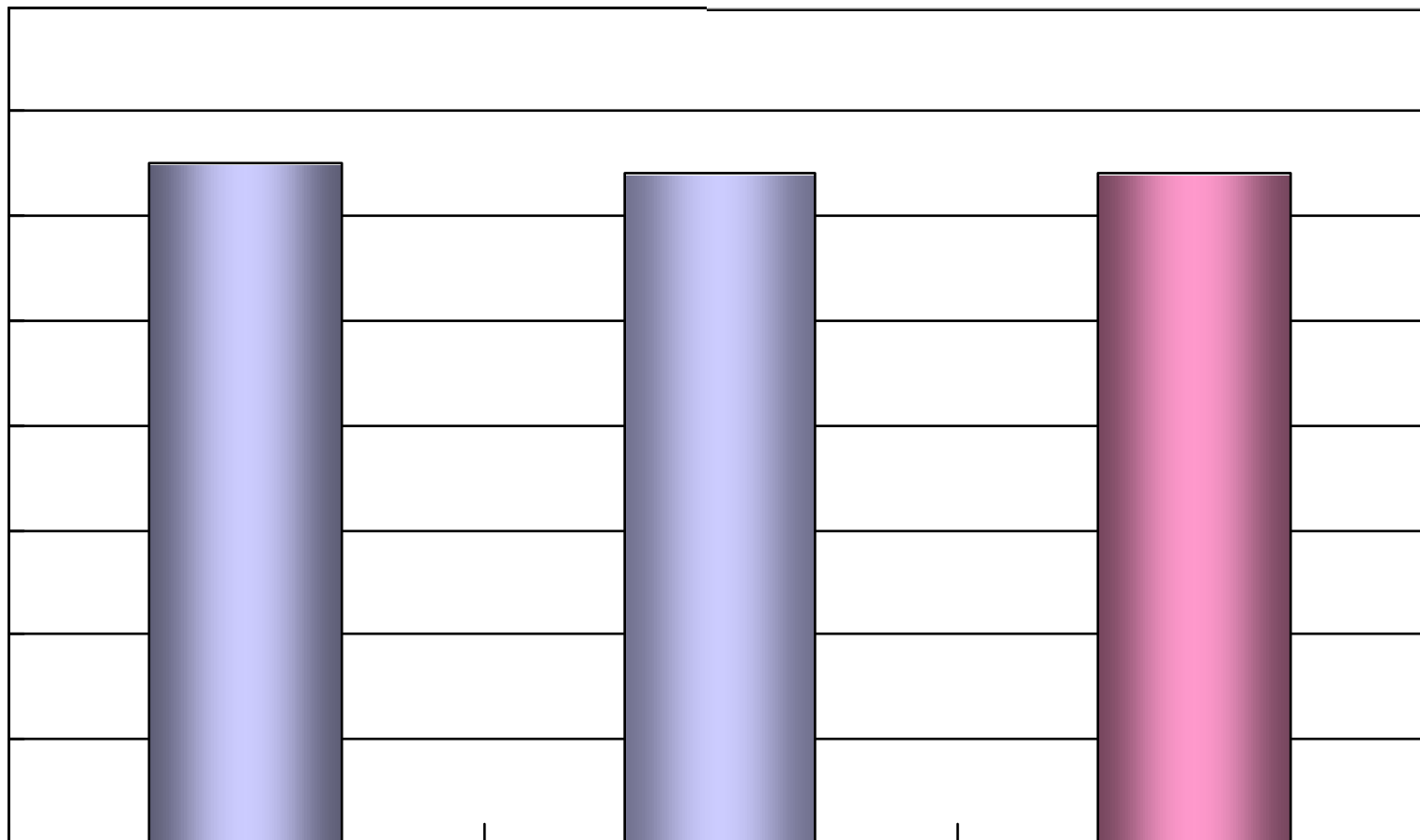
4,000

3,000

2,000

1,000

0



2013

2014

2015 (年度)

連結営業利益

414億円

前期比：172億円増

(億円)

600

500

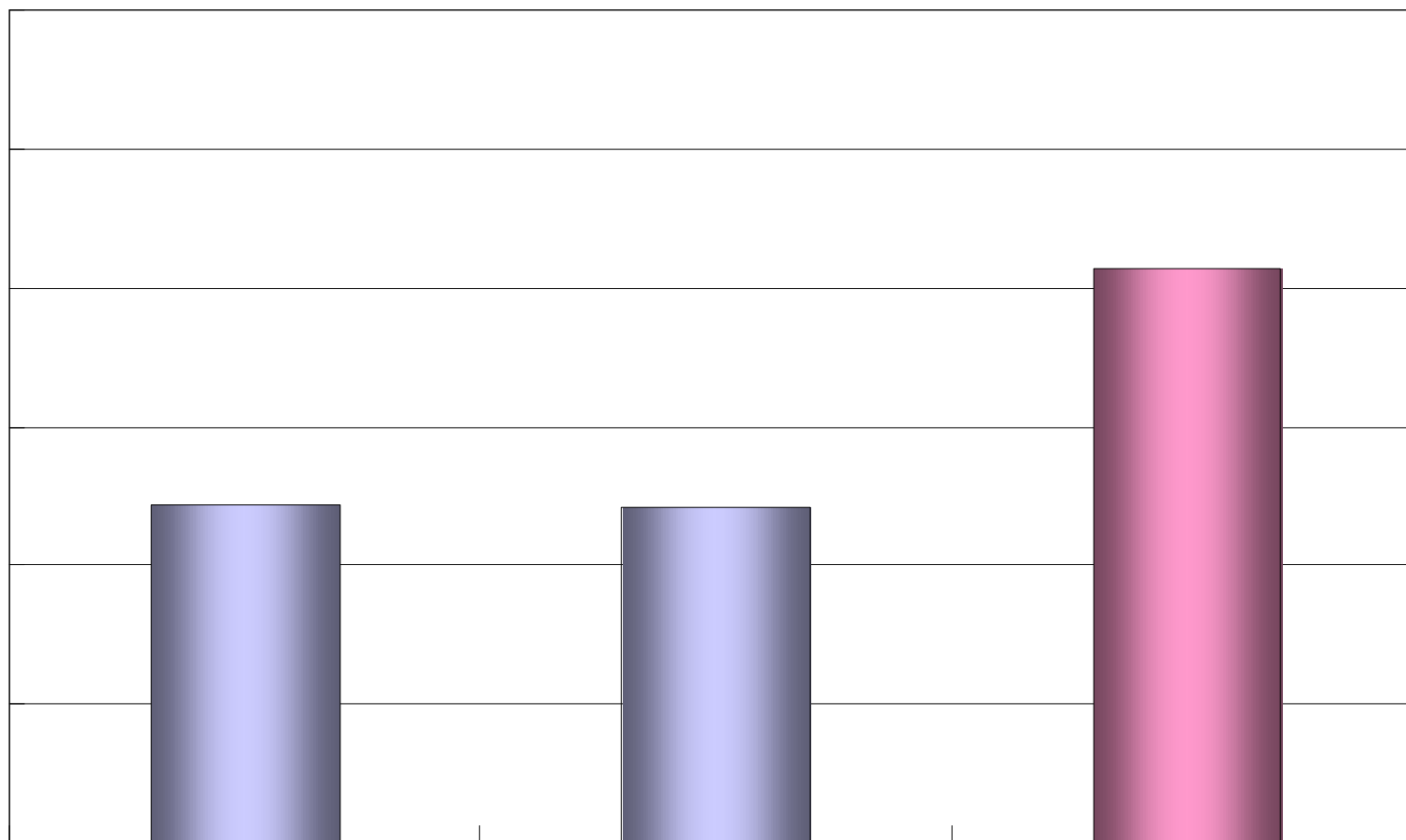
400

300

200

100

0



2013

2014

2015 (年度)

連結經常利益

396億円

前期比：163億円増

(億円)

600

500

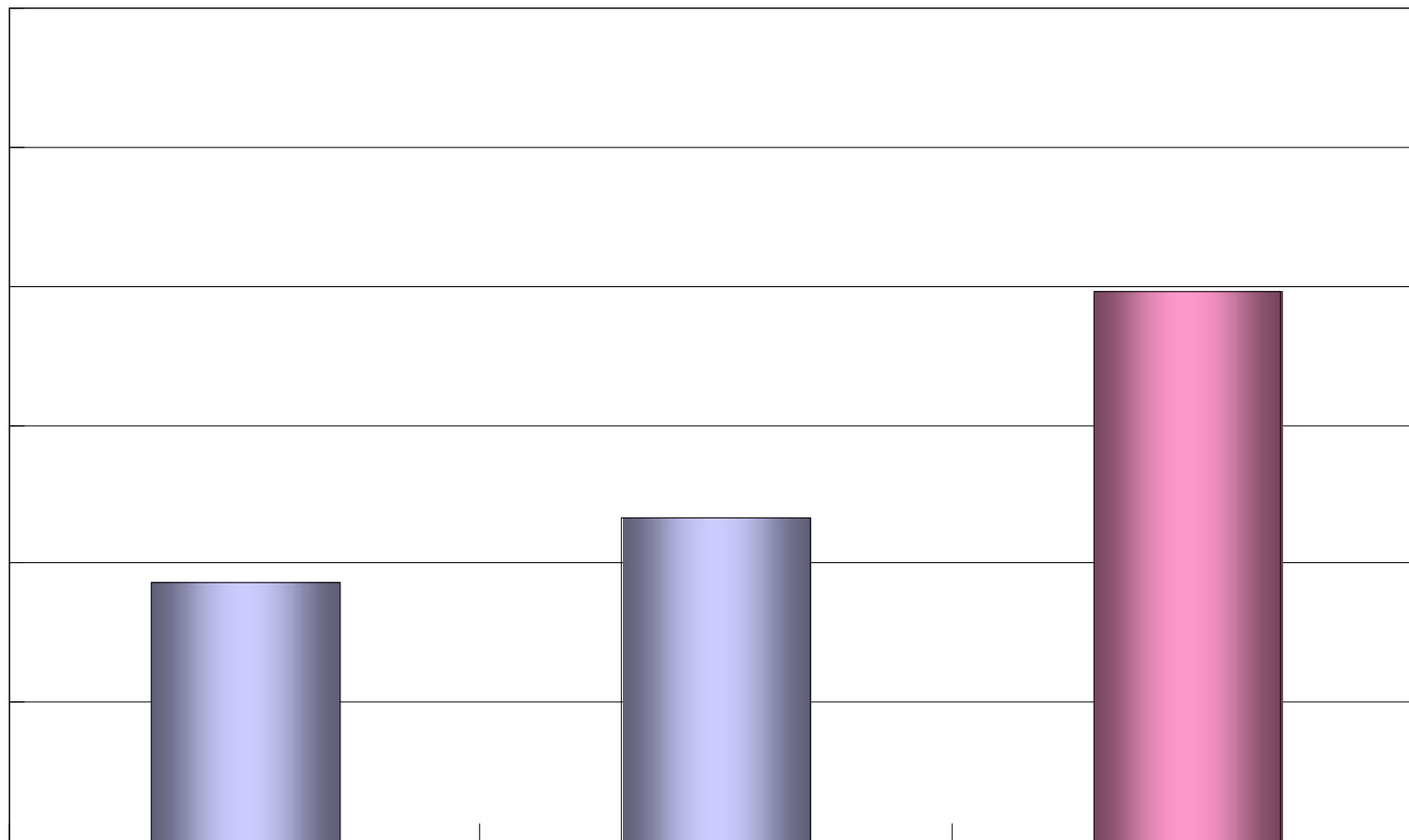
400

300

200

100

0



2013

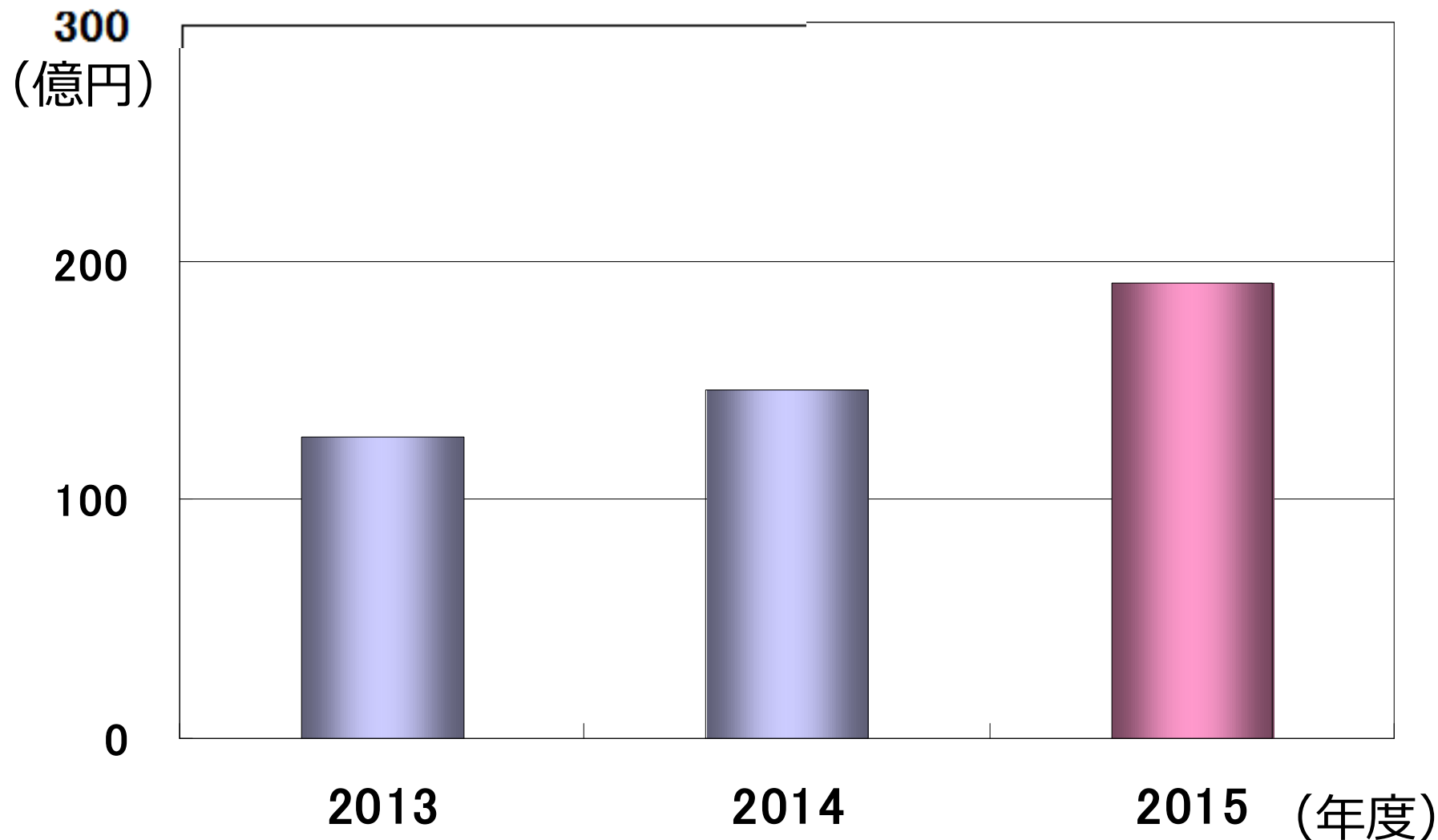
2014

2015 (年度)

親会社株主に帰属する 連結当期純利益

191億円

前期比：44億円増



売上高（単独）

3,018億円

前期比：47億円減

(億円)

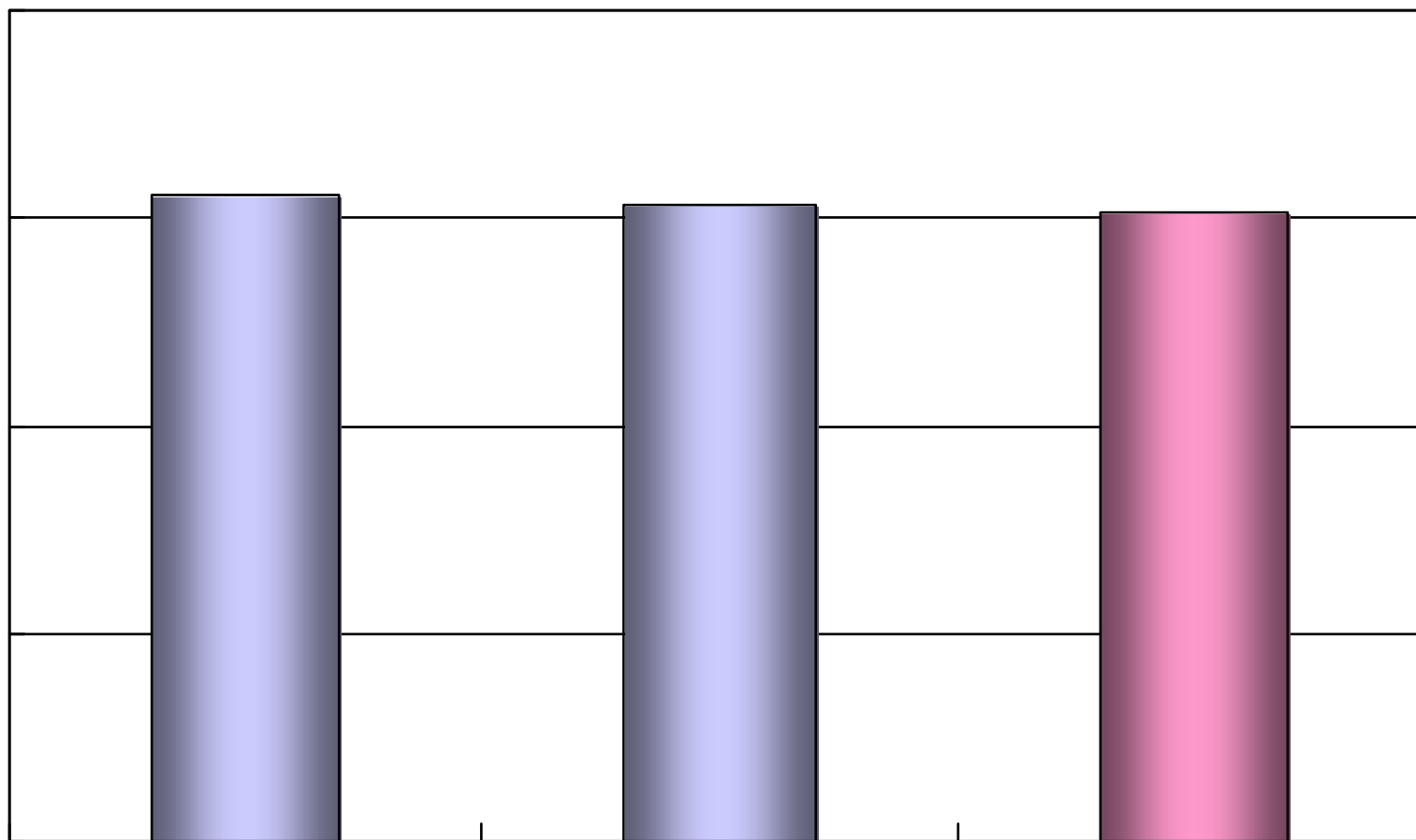
4,000

3,000

2,000

1,000

0



2013

2014

2015 (年度)

営業利益（单独）

258億円

前期比：110億円増

(億円)

300

250

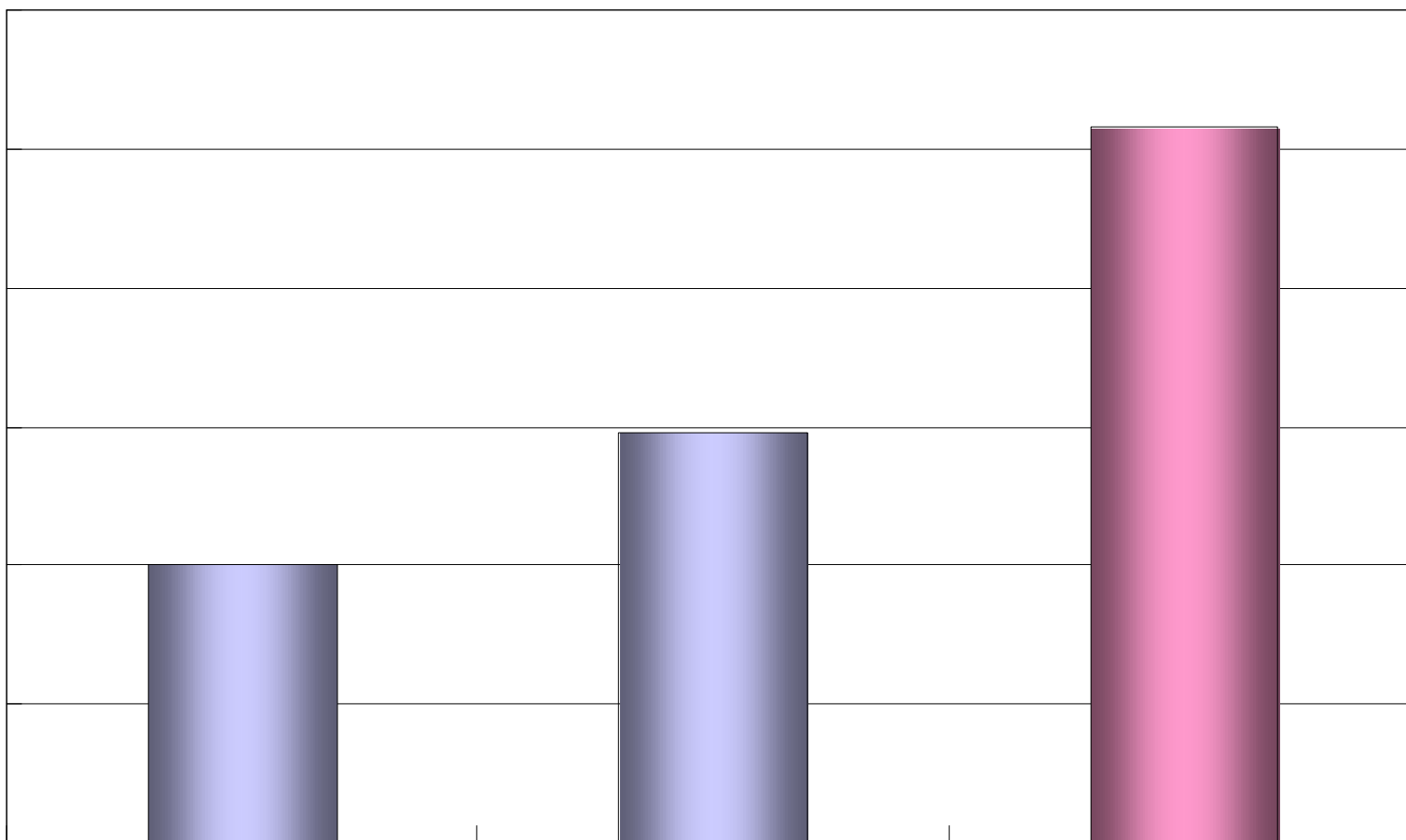
200

150

100

50

0



2013

2014

2015 (年度)

經常利益 (单独)

277億円

前期比：101億円増

(億円)

300

250

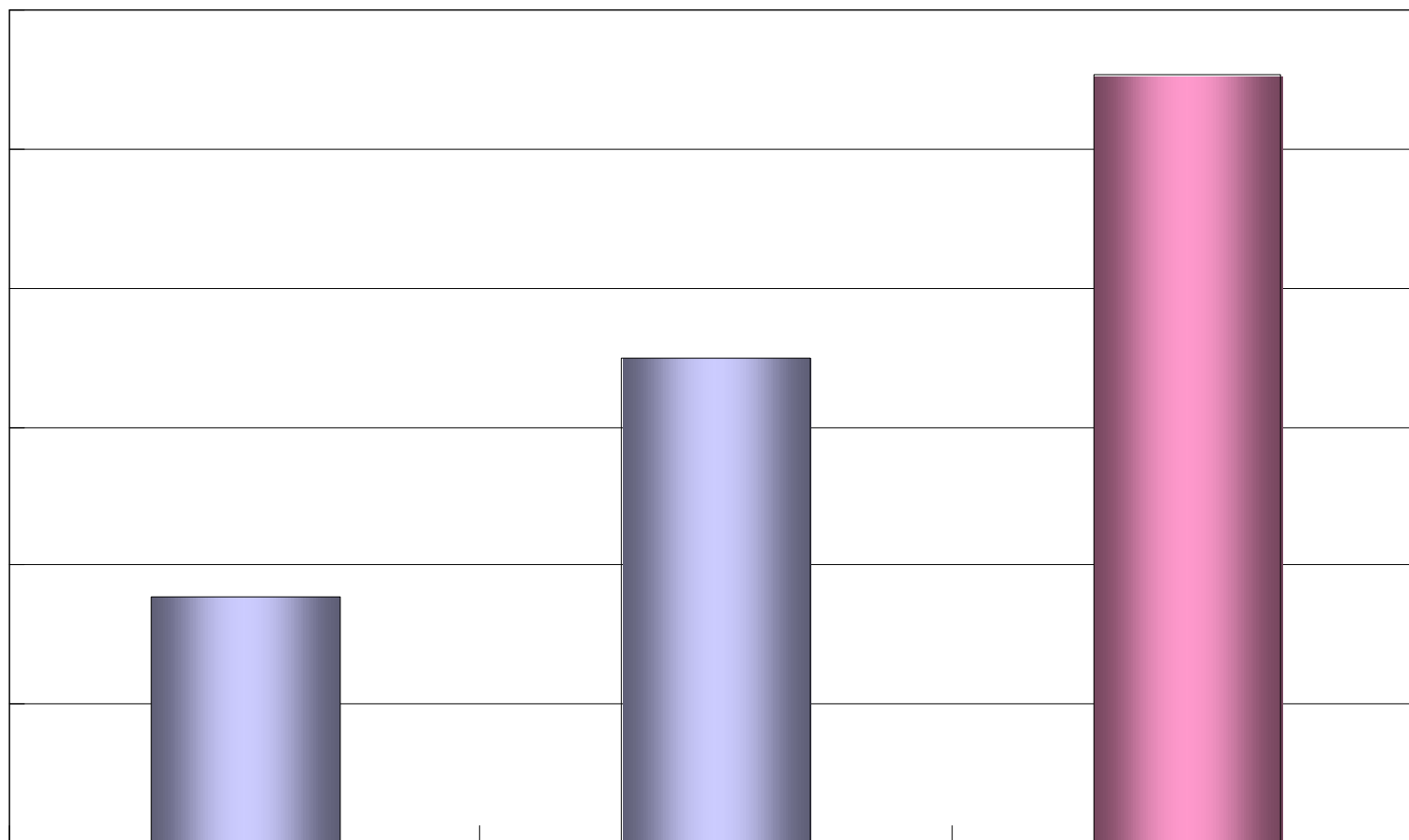
200

150

100

50

0



2013

2014

2015 (年度)

当期純利益 (单独)

117億円

前期比：34億円増

(億円)

125

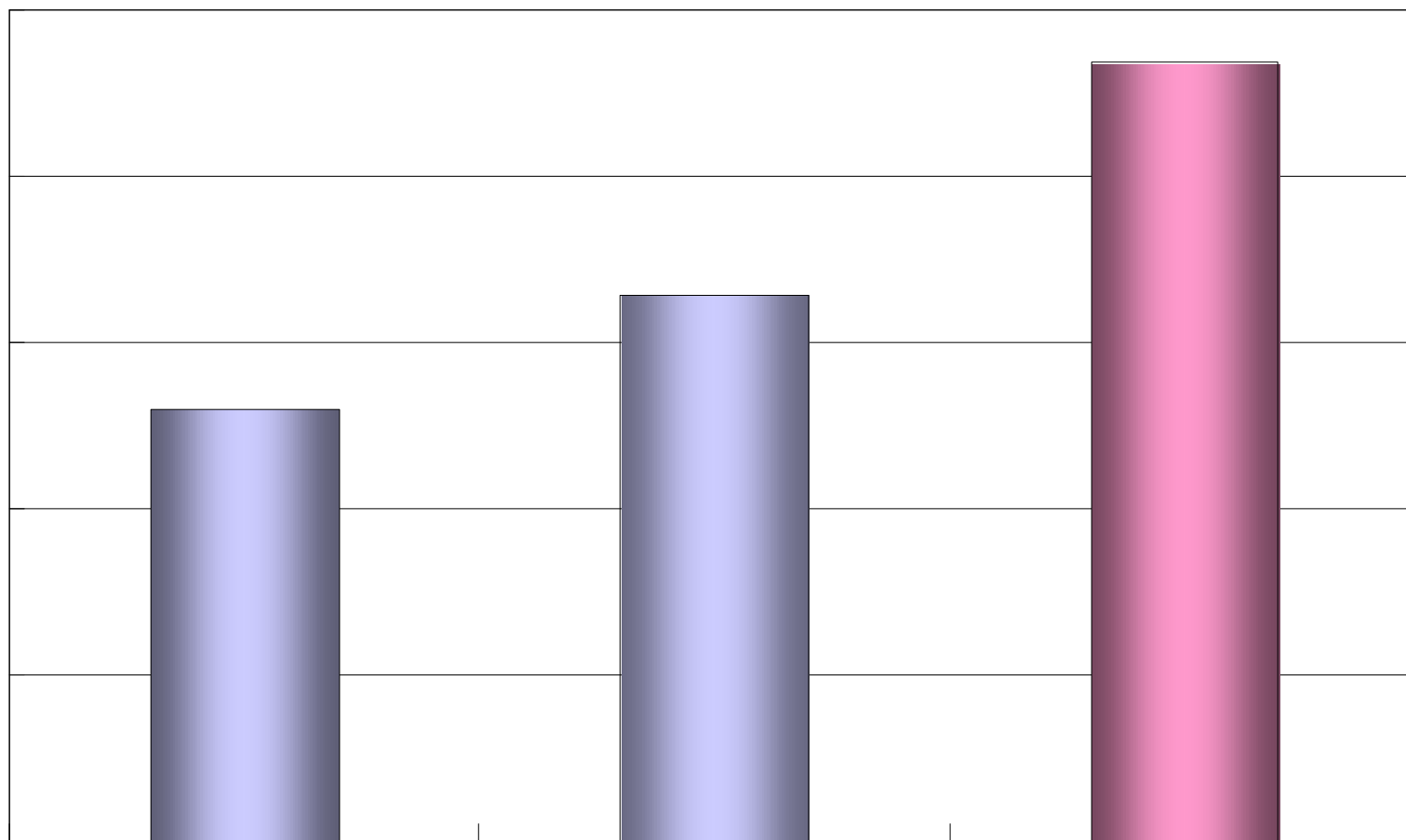
100

75

50

25

0



2013

2014

2015 (年度)

化学部門

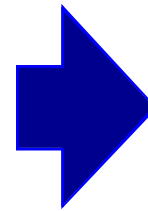
医薬部門

建設資材部門

機械・金属成形部門

エネルギー・環境部門

化学部門



食品包装フィルム
用途を中心に
概ね堅調

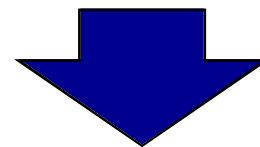
ナイロン樹脂

化学部門



カプロラクタム
(ナイロン原料)

- アンモニア等副原料の
価格低下
- 中国市場を中心に供給
過多の状況が続く



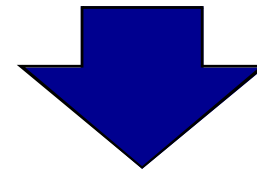
市況は低迷

化学部門



アンモニア製品

- ・工場の定期修理を隔年実施に移行



出荷は堅調

化学部門



ポリブタジエン
(合成ゴム)



エコタイヤ用途
を中心に出荷
は概ね堅調

化学部門



電解液



セパレータ

民生用途

車載用途

出荷は伸長

※価格下落の影響を受ける

化学部門



ファインケミカル製品



ポリイミドフィルム

※収益面では低調

出荷は概ね堅調

化学部門

前期比：134億円減

連結売上高 2,667 億円

前期比：130億円増

連結営業利益 120 億円

化学部門

【減損損失を特別損失に計上】

- ポリイミド事業
- エーイーティー・エレクトロライト
 - ・テクノロジーズ 張家港 社 電解液事業
(中国における連結子会社)

化学部門

医薬部門

建設資材部門

機械・金属成形部門

エネルギー・環境部門

医薬部門



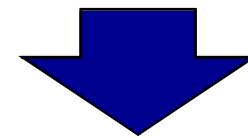
自社医薬品

血圧降下剤

抗アレルギー剤

抗血小板剤

流通在庫の調整が継続



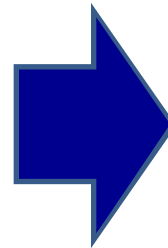
原体出荷は低調

医薬部門



【第四医薬品製造設備】

受託医薬品
原体・中間体



出荷は増加傾向

医薬部門

前期比：14億円増

連結売上高 92億円

前期比：2億円増

連結営業利益 11億円

化学部門

医薬部門

建設資材部門

機械・金属成形部門

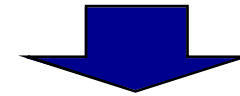
エネルギー・環境部門

建設資材部門



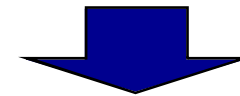
セメント・生コン製品

国内需要減少



出荷は前期を
やや下回る

エネルギーコストの改善



全体としては
堅調に推移

建設資材部門

カルシア

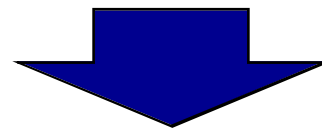


【生石灰】

マグネシア



【マグネシアクリンカー】



耐火物向けを中心に出荷は概ね堅調

※燃料価格低下も寄与

建設資材部門

前期比：149億円増

連結売上高 2,373億円

前期比：28億円増

連結営業利益 198億円

化学部門

医薬部門

建設資材部門

機械・金属成形部門

エネルギー・環境部門

機械・金属成形部門

産業機械
(豎型ミル、運搬機 等)

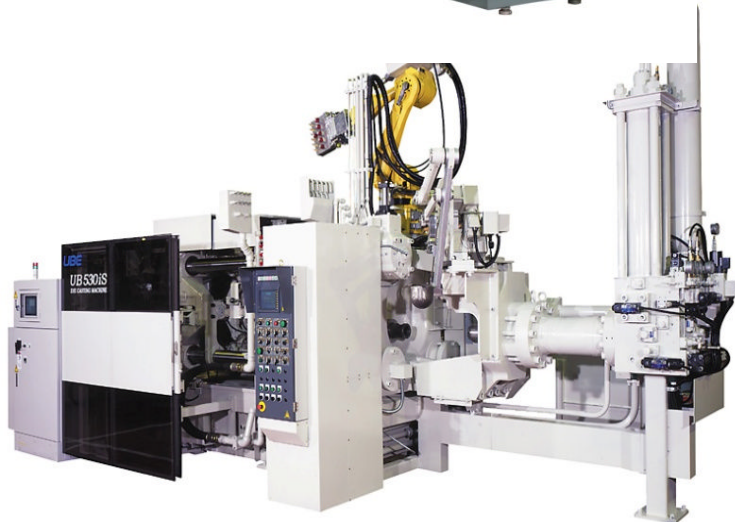
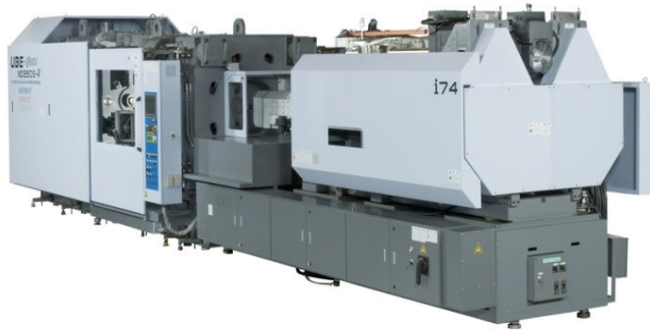


国内向け
： 出荷堅調

東南アジア等
新興国向け
： 出荷減少

機械・金属成形部門

成形機



国内および北米向け
： 出荷堅調

中国・東南アジア向け
： 出荷減少

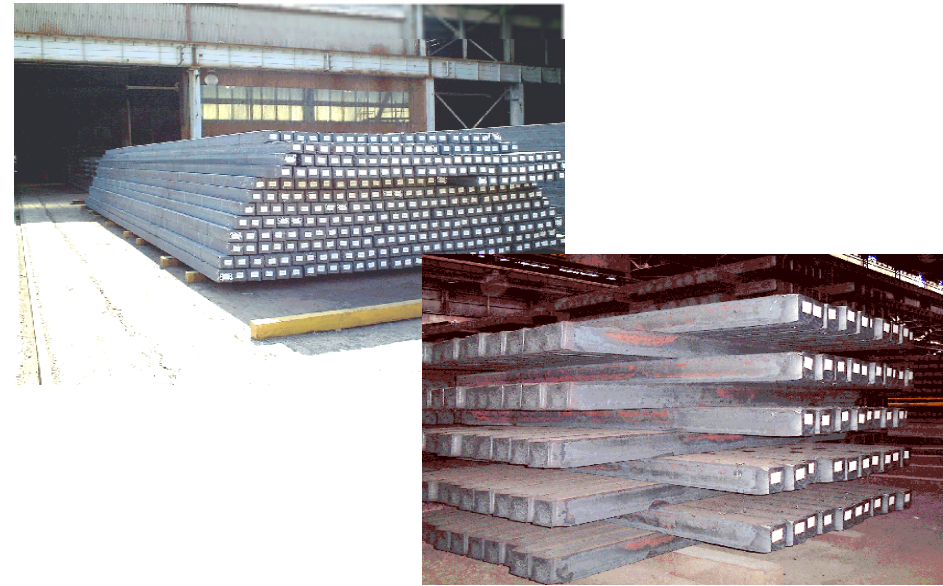
機械・金属成形部門

製品サービス事業



伸長

製鋼品



出荷は堅調

機械・金属成形部門

前期比：55億円減

連結売上高 734億円

前期比：2億円増

連結営業利益 46億円

機械・金属成形部門

2016年4月1日より、
「機械部門」に名称変更

化学部門

医薬部門

建設資材部門

機械・金属成形部門

エネルギー・環境部門

エネルギー・環境部門

石炭事業



【沖の山コールセンター】（石炭中継基地）

コールセンター経由
販売炭・預り炭
取扱数量は堅調

エネルギー・環境部門

電力事業



【216MW IPP発電所】

IPP発電所復旧
に伴い、売電量増加

エネルギー・環境部門

前期比：22億円増

連結売上高 690億円

前期比：10億円増

連結営業利益 38億円

その他部門

前期比： 5億円減

連結売上高 167 億円

前期比： 4百万円減

連結営業利益 11 億円

資金調達の状況

- ❖ 自己資金
- ❖ 金融機関からの借入金

当期末 連結有利子負債残高

前期末比 230億円減

2,166億円

設備投資等の状況

- ◆ 生産設備の新增設
- ◆ 維持更改
- ◆ 省力化・合理化など

総額：344億円

当期に完成した主要設備

- ポリカーボネートジオール製造設備
(化学部門 / タイ)
- 排熱発電設備
(建設資材部門 / 苅田セメント工場)

当期に建設中の主要設備

- シクロヘキサノン製造設備
(化学部門 / 宇部ケミカル工場)
- 新規セパレータ製造設備
(化学部門 / 堺工場)
- 大阪研究開発センター新設
(堺工場敷地内)
- 石灰石鉱区開発工事
(建設資材部門 / 伊佐セメント工場)

連結貸借対照表

(億円)

科 目	金額	科 目	金額
(資産の部)	6,797	(負債の部)	3,901
流動資産	2,769	流動負債	2,332
固定資産	4,027	固定負債	1,569
有形固定資産	3,238	(純資産の部)	2,896
無形固定資産	49	株主資本	2,630
投資その他の資産	739	資本金	584
繰延資産	1	資本剰余金	385
		利益剰余金	1,668
		自己株式	△8
		その他の包括利益累計額	35
		新株予約権	5
		非支配株主持分	224
資産合計	6,797	負債・純資産合計	6,797

連結損益計算書

(億円)

科目	金額
売上高	6,417
売上原価	△5,199
販売費及び一般管理費	△803
営業利益	414
営業外収益	82
営業外費用	△100
経常利益	396
特別利益	34
特別損失	△154
税金等調整前当期純利益	276
法人税、住民税及び事業税等	△89
非支配株主に帰属する当期純損失	3
親会社株主に帰属する当期純利益	191

今後の経済情勢

国内景気は緩やかな回復に向かうことが期待

為替や原燃料価格の先行き

中国など新興国や資源国での経済成長鈍化

米国・欧州における経済・金融政策の動向



不透明感の強い状況が続くことが見込まれる

対処すべき課題

2016年度からの3ヶ年の中期経営計画

「Change & Challenge 2018」

Change & Challenge 2018 ～ 基本方針

1. 持続的成長を可能にする経営基盤の強化

- ・強い利益率意識、コストダウン徹底、既存商品収益力向上
- ・連結キャッシュフロー重視、投資成果の確実な刈り取り
- ・海外拠点拡充と国内外グループ会社の連携深化
グローバルな事業環境変化にスピーディに対応
- ・化学部門の復活、更なる成長（営業利益200億円レベルまで）

2. 資源・エネルギー・地球環境問題への対応と貢献

- ・温室効果ガス削減
⇒ 2021年度目標：2005年度比 15%削減
- ・環境負荷低減に貢献する技術・製品の創出・拡大

Change & Challenge 2018

～ 数值目標 (2018年度)

1. 主要項目

営業利益 500億円

經常利益 490億円

2. 經營指標

売上高営業利益率 (ROS) 6.5%以上

自己資本利益率 (ROE) 9.0%以上

Change & Challenge 2018 ～ 化学・医薬

【化学】 完全復活と成長ドライバーの顕在化

- ナイロン・合成ゴム・セパレータ・高機能コーティングの4事業
 - ➔ 「積極拡大事業」として重点的資源投入
他の各事業もキャッシュフロー経営を徹底
- コストダウンへの取り組み強化
 - ➔ 「機能創出」と「コスト競争力強化」
バランスの取れた研究・開発・生産技術の
資源配分



(高機能コーティング)
(スペイン)

【医薬】 収益構造の改革と 成長軌道への回帰

- 医薬パイプラインの充実
- モノ作りの収益力向上

(自社医薬品)
(3剤)



Change & Challenge 2018 ～ 建設資材

○ 基盤事業の収益力維持・強化

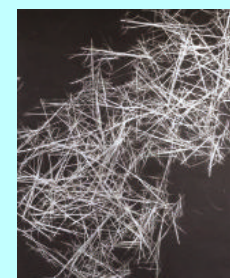
- セメント・生コン・リサイクル・石灰石・カルシア・マグネシア
・コスト削減、生産合理化、廃棄物利用拡大
- グループ会社との連携強化
・グループ・シナジーの最大化
・事業の再構築・統合（資源事業、建材事業）



(シンガポールの出資先)

○ 成長戦略の拡充と伸長

- 事業エリア／事業領域を拡大
海外事業・ファインマテリアル・環境資材
・セメント安定輸出先の獲得
・モスハイジ(自動車軽量化向け繊維)増強
・中性固化材、重金属不溶化材の拡販



(モスハイジ・使用例)

Change & Challenge 2018

～ 機械、エネルギー・環境

【機械】 海外拠点の拡充と連携深化

- 自動車やインフラ向け製品の競争力強化
 - ・継続的なコストダウンと商品開発
 - ・顧客ニーズを先取りしたグローバルな新機種投入
- 米州・アジアを中心にサービス事業を拡大
 - ・顧客サポートとサービス提案活動を推進



(射出成形機)

【エネルギー・環境】 エネルギーコスト競争力強化

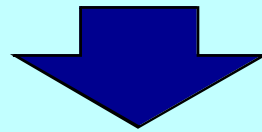
- 石炭 安価調達、港の整備、貯炭場の能力増強
- 電力 老朽化した自家発電所の計画的・効率的更新



(貯炭場)

対処すべき課題

公正な企業活動、社会的責任を果たすための活動の推進



経営理念である「共存同栄」の精神の下、社会との共生を目指し、株主や資本市場、顧客、取引先、従業員、地域社会等、全てのステークホルダーからの信認を深める